

2022年3月29日

報道関係各位

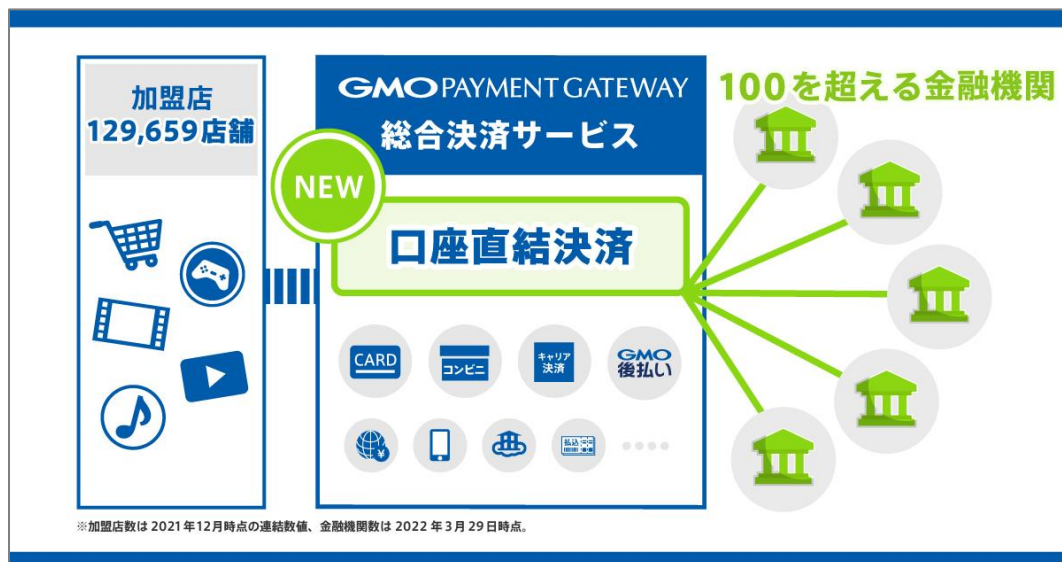
GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

ECで現金感覚の支払いを！ 「口座直結決済」を2022年9月下旬より提供開始 ～メガバンク・地方銀行など100を超える金融機関口座が利用可能～

GMO インターネットグループにおいて、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを展開する GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（東証一部：証券コード 3769、代表取締役社長：相浦 一成 以下、GMO-PG）は、金融機関口座からの引き落としとして EC の支払いができる「口座直結決済」の提供を 2022 年 9 月下旬より開始いたします。

「口座直結決済」は、消費者が EC 決済時に口座情報の入力と認証を行うだけで、購入代金を消費者の口座から直接かつ即時に引き落とす決済サービスです。EC 事業者は本サービスを導入することで、各金融機関と個別に契約・接続することなく、三井住友銀行、三菱 UFJ 銀行、みずほ銀行、横浜銀行など 100 を超える金融機関（2022 年 3 月 29 日時点）の口座引き落としによる支払いを提供することが可能となります。なお、本サービスは GMO-PG が提供する総合決済サービス「PG マルチペイメントサービス」の決済手段として提供するため、EC 事業者はクレジットカード決済や後払い決済サービス「GMO 後払い」などと併せて、「口座直結決済」を一括して EC サイトに導入・管理することが可能です。

今後も GMO-PG は、EC やオンラインサービスを展開する事業者に、多様化する消費者ニーズに合わせた決済手段を提供してまいります。



【背景と概要】

日本国内の BtoC EC 市場規模は 2020 年時点で 19.2 兆円、EC 化率は 2015 年の 4.7% から 8.0% ^(※1) まで拡大しています。インターネットの利用者比率が 2020 年時点で 83.4% ^(※2) と若年層から高齢者層まで利用層が広がるなか、これまで EC を利用していなかった層の EC 利用が増え、EC における決済手段へのニーズも多様化すると推測されます。一方で、金融機関のうち日本における個人の銀行口座保有率は 2021 年 8 月時点で 90.6% ^(※3) と 9 割を超えており、多くの消費者層が利用できる決済手段の一つとして、金融機

関の口座を活用した決済サービスが考えられます。

このような背景のもと GMO-PG は、EC での決済手段として、消費者が金融機関の口座情報入力と認証を行うことで、口座からの引き落としによる支払いができる「口座直結決済」の提供を 2022 年 9 月下旬より開始いたします。

「口座直結決済」は購入代金を消費者の口座残高から直接かつ即時に引き落とす決済方法のため、自身の口座を財布に見立てた現金決済のような感覚でお支払いできます。クレジットカードを持たない・あまり利用をしない、使い過ぎや払い忘れを防ぎたいといった消費者も利便性良く EC で利用することが可能です。また、EC だけでなく、オンラインサービス、デジタルコンテンツ、サブスクリプションサービスなどのシーンでも利用できます。

EC 事業者が EC やオンラインサービスで口座から直接かつ即時引き落としによる支払いを提供するには、今まで各金融機関と個別に契約を結びシステム接続を行う必要がありましたが、本サービスを利用することで各金融機関と個別に契約・システム接続をすることなく、金融機関の口座引き落としによる支払いを提供することが可能となります。

なお、本サービスは総合決済サービス「PG マルチペイメントサービス」の新しい決済手段として提供するため、EC 事業者はクレジットカード決済・「GMO 後払い」・キャリア決済といった EC 決済手段と併せてご利用できます。

- (※1) 2021 年 7 月発表 経済産業省「令和 2 年度産業経済研究委託事業（電子商取引に関する市場調査）」
市場規模は物販系分野・サービス分野・デジタル分野の合算、EC 化率は物販系分野の値。
URL : https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/statistics/outlook/210730_new_hokokusho.pdf
- (※2) 2021 年 6 月発表 総務省「令和 2 年通信利用動向調査報告書（世帯編）」
URL : https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/pdf/HR202000_001.pdf
- (※3) 2021 年 12 月発表 一般社団法人 全国銀行協会「よりよい銀行づくりのためのアンケート（報告書）」
URL : <https://www.zenginkyo.or.jp/fileadmin/res/news/news331230.pdf>

【「PG マルチペイメントサービス」について】

「PG マルチペイメントサービス」は、クレジットカード決済をはじめ、様々な決済手段を一括して提供する総合決済サービスです。複数の決済手段や機能を一つの管理画面で一元管理できるだけでなく、決済手段ごとの締め日や入金日が統一できるため^(※4)、入出金管理の手間も軽減できます。

(※4) 決済手段により入金形態が異なります。

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

ネットショップなどのオンライン事業者、NHK、国税庁や東京都等の公的機関など 10 万店舗以上の加盟店に、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを提供しています。決済サービスを中心に、加盟店の成長に資する付加価値サービス、金融技術を活用した決済手段や資金ニーズに対応するサービスを提供し、年間決済処理金額は 8 兆円を超えています。(2021 年 12 月末現在、連結数値)

決済業界のリーディングカンパニーとして、キャッシュレスや DX を進める事業者や金融機関に対して、各種決済・金融関連のソリューションやプラットフォームの提供、決済インフラの構築などを行っています。また、海外での決済関連サービス展開や海外の先端 FinTech 企業への戦略的投融資などグローバル展開も進めています。今後も新たなイノベーションを牽引し、持続可能な社会の実現と社会の進歩発展に貢献してまいります。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
企業価値創造戦略 統括本部 広報・UX 部
TEL： 03-3464-0182
お問い合わせフォーム：
<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
イノベーション・パートナーズ本部
TEL： 03-3464-2323
E-mail： info@gmo-pg.com

- GMO インターネット株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 松井
TEL： 03-5456-2695 E-mail： pr@gmo.jp

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】（URL： <https://www.gmo-pg.com/>）

会 社 名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社 （東証第一部 証券コード：3769）
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 相浦 一成
事 業 内 容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資 本 金	133億23百万円

【GMO インターネット株式会社】（URL： <https://www.gmo.jp/>）

会 社 名	GMO インターネット株式会社 （東証第一部 証券コード：9449）				
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー				
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿				
事 業 内 容	<table border="0"> <tr> <td>■インターネットインフラ事業</td> <td>■インターネット広告・メディア事業</td> </tr> <tr> <td>■インターネット金融事業</td> <td>■暗号資産事業</td> </tr> </table>	■インターネットインフラ事業	■インターネット広告・メディア事業	■インターネット金融事業	■暗号資産事業
■インターネットインフラ事業	■インターネット広告・メディア事業				
■インターネット金融事業	■暗号資産事業				
資 本 金	50億円				

Copyright (C) 2022 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.